



2025 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
経理・財務グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

第 2 四半期（中間期）連結累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025 年 4 月 30 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結累計期間(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結累計期間業績予想と実績の差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間 純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	53,500	1,260	840	500	20.61 円
今 回 発 表 実 績 (B)	51,248	1,633	1,296	834	34.35 円
増 減 額 (B－A)	△2,252	373	456	334	－
増 減 率 (%)	△4.2	29.6	54.3	66.8	－
(ご参考) 前期第 2 四半期（中間期）実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期(中間期))	49,140	1,252	1,117	595	24.56 円

II. 差異が生じた理由

当中間連結会計期間の業績は、樹脂・化成品事業では、新製品の拡販により塗料用樹脂の増収となり、売上高は増加しました。製紙用薬品事業では、紙力増強剤が販売価格の低下により減収、電子材料事業では、はんだ付け材料が欧米地域における自動車生産台数の減少により減収となり、ローター事業は、北米での路面用標示塗料用樹脂が堅調でしたが、水系粘着付与剤、印刷インキ用樹脂が低調となり、前回の予想より減収となりました。全体として売上高は、前回の予想を下回りました。

営業利益につきましては、前回予想に比べ、売上高減とはなりましたが、原材料価格の下落等により前回の予想を上回りました。

経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、前回予想に比べ、為替差損増ではありましたが、営業利益増、持分法による投資利益増により前回の予想を上回りました。

以 上